

JCOAL Magazine

JCOAL Magazine 第 244 号 令和元年 11 月 26 日

★目次★

JCOAL 活動報告

- ◆J-POWER 若松総合事業所『いきいき若松 2019』にて JCOAL が出前授業を実施

国際ニュース

- ◆COP25 開催地がチリからスペインへ変更
- ◆アメリカ大統領、パリ協定から離脱を正式に通告

その他レポート／教育等

- ◆東海大付属高輪台高等学校より JCOAL が取材を受けました
- ◆J-POWER 磯子火力発電所にて「J-POWER まつり 2019」が開催
- ◆JCOAL 業務紹介：技術連携戦略センター
『バイオマス・トレファクション技術開発・実証支援』
- ◆教えて！ニャンコール教授！「石炭って燃えた後は何になるの？」
- ◆JCOAL 業務紹介：国際事業部
『日中協力事業のコーディネーターとして石炭火力発電の効率向上・環境改善事業、石炭の付加価値高度化事業』及び『石炭・新エネに係る日中協力事業等の支援』
- ◆映画『ぼくらの7日間戦争』に赤平市の旧住友赤平炭鉱立坑櫓がモデル地に

お知らせ

- ◆エコプロ 2019 に出展します
- ◆『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』好評発売中
- ◆『石炭の開発と利用』好評発売中
- ◆『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ
- ◆JCOAL 会員募集
- ◆JCOAL 新規会員ご加入情報
- ◆石炭価格動向チャートを更新
- ◆「国内セミナー／会議情報」 および 「国際セミナー／会議情報」を更新
- ◆編集後記



JCOAL 活動報告

J-POWER 若松総合事業所「いきいき若松 2019」にて JCOAL が出前授業を実施

10月27日(日)にJ-POWER 若松総合事業所で開催された『いきいき若松 2019』にて、JCOAL が出前授業として石炭実験教室を開講しました。

『JCOAL 石炭実験教室』として同日の11:00開始(15名)、13:00開始(14名)、14:30開始(8名)と、計3回(参加人数合計37名)の実験教室(各回30分ほど)を開催し、石炭と石炭ではない石を選別する「選炭実験」や、石炭がどのように燃えるのか体験する「石炭燃焼実験」を実施しました。

今回、初の講師役を務めたJCOAL 大島でしたが、実験教室のサポートに就いていただいた井原氏(J-POWER)やJCOAL 殖田と協力し、参加した子どもたちが積極的に手を挙げ答えてくれる場面が多くあるなど、緊張しながらも和やかに楽しく協力しながら進行することができました。

「分かりやすく説明する」という事に関して、自ら気付きや課題を感じることが出来た大島は「今後のため、また次回の実験教室のためにもこの経験を生かしたい」と感想を述べています。

J-POWERグループ 地域交流祭 いきいき若松 2019

構内見学会 案内

見て、聞いて、触って、J-POWERを体験しよう!!

番号	イベント名	内 容
6	バス周回見学 夢が膨らむ「ハローキティ」をデザインした北九州市交通局・市営バスのキャラクターバスが会場に登場!!構内見学コースを運行します。	定員:各回30名 今話題のハローキティバス(交通局)で構内を巡りながら、当社設備をご案内します。陸上風車、集光追尾型太陽光パネル、グリーンオイル生産技術開発施設、石炭ガス化技術開発施設(EAGLE)などバスに乗るだけでJ-POWER若松のことがよくわかるコースです。午後にはバスを止めて自由に写真撮影できる時間がございます。 ※1 案内からの見学になります。※2 運行時間は目安となっております。※3 ハローキティバスではない普通バスも運行します。
13	火力発電所 運転シミュレータ見学 管理券が必要なイベントです。MAP ⑬ 受付にて配布いたします。	定員:各回40名 若松総合事業所では、実際の当社火力発電所で用いられている制御室と同じ設備をシミュレータとして所員の研修を行っています。そのシミュレータを見学しながら、石炭火力発電所の概要を説明します。 ※1 定員に達し次第終了となります。※2 12:20の回終了後も、見学は可能です。
16	JCOAL石炭実験教室 管理券が必要なイベントです。MAP ⑬ 受付にて配布いたします。	定員:各回18名 「選炭実験」(石と石炭を分ける)、「発電実験」(電気がどうつくか)、「石炭燃焼実験」(石炭が燃えるかどうか)を通して、石炭について知ってもらいます。 ※JCOAL(一般財団法人 石炭エネルギーセンター)とは、石炭に関する技術開発、事業化支援、教育の普及・啓蒙、人材の育成等を行っており、J-POWERも会員企業の一つとなっております。
17	J-POWER会社紹介	若松とJ-POWERそれぞれの歴史に関する映像やパネルを展示します。自由にくつろげるスペースもございますので、休憩場所としてもご利用ください。 ※洋上風力発電の紹介コーナーもあります。

構内見学会コースMAP

見学バスコース

『いきいき若松 2019』での石炭実験教室のちらし





授業の様子



燃焼実験の様子

J-POWER による若松総合事業所および「いきいき若松 2019」(J-POWER 公式リリース)

http://www.jpowers.co.jp/open_day/wakamatsu/index.html

今回、出前授業(石炭実験教室)の開催にあたり全面的に協力いただいた J-POWER の皆様のご協力に感謝いたします。

JCOAL ではこれからも石炭に関する普及・啓発に努めてまいります。引き続き、出前授業のご希望があれば、いつでも・どこにでも参上いたしますので、是非お声を掛けていただければと存じます。下記のメールアドレス(jcoal-magazine@jcoal.or.jp)にてご連絡お待ちしております。

技術連携戦略センター 殖田桜子
大島翔



国際ニュース

■ COP25 開催地がチリからスペインへ変更

チリのサンティアゴで開催が予定されていた COP25。10 月 30 日にチリのセバスティアン・ピニェラ大統領は APEC 首脳会議および COP25 の開催を断念すると発表。チリ国内では抗議デモが 10 日以上続き、社会秩序の回復が難しいためとしている。

スペイン政府が代替開催地として声を上げ、スペインのマドリードに開催地が変更された。会期予定 12 月 2 日（月）から 12 月 13 日（金）は変更されない。開催地は変わるが、議長国は引き続きチリが務めることとなる。

日本のニュースでは、環境活動家のグレタ・トゥンベリさんの移動方法が取り上げられることが多い。各国や地域などの動向は、追って同マガジンで報告予定。



COP25 公式ホームページのトップページ画像（下記 URL より画像引用）

【参考ニュースサイト】

COP25 公式ホームページ

<https://www.cop25d/>

チリ大統領 APEC と COP25 開催断念を発表 (NHK NEWS WEB)

<https://www.3nhk.jp/news/html/20191030/k10012157721000.html>

COP25、マドリードで開催 従来主催のチリが議長国 (ロイター)

<https://jreuters.com/article/cop-spain-idUPKBN1XB50M>

COP25、スペインで 12 月に開催 国連決定 (日経新聞電子版)

<https://www.nikkei.com/article/DGXVZO5174151059A101C1000000/>

気候変動枠組条約 (Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%97%E5%80%99%E5%A4%89%E5%8B%96%E6%9E%A0%E7%B5%84%E6%9D%A1%E7%B4%84>

チリ暴動が照らし出す、反緊縮デモが世界各地に広がる理由 (ニュースウィーク日本版)

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2019/10/post-13274.php>

企画広報部



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問い合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで



■ アメリカ大統領、パリ協定から離脱を正式に通告

前オバマ政権を批判するトランプ大統領は、大統領就任前からパリ協定離脱に言及していた。そして COP25 開催を前に、2019 年 11 月 4 日（月）にパリ協定からの離脱を正式に表明した。

離脱するには 1 年を要し、2020 年 11 月 4 日（月）に正式に離脱が完了する。そして、その日はアメリカでは合衆国大統領選挙の翌日に該当する。

前オバマ大統領の時代には積極的に各国へパリ協定の批准を働きかけていただけに、正反対の行動となる。地球温暖化・環境対策でイニシアチブを取っていた米国内では、批判の声を多く耳にする。CO2 排出削減目標などそのものに懐疑的な見解を示すトランプ大統領、前オバマ政権時に発行したクリーンパワープラン（二酸化炭素排出規制）に代わる新たな案としてアフォードブル・クリーン・エネルギー（ACE）ルールを出すなどの行動も、クリーンパワープランを遵守していた環境活動の著しい州（カリフォルニアなど）からは強い批判がある。

今回の離脱表明も強く批判をされているが、トランプ大統領が再エネ産業や同ビジネスを阻害するような活動は特に目立っていないし見つからない。環境や再エネビジネスにおいてアメリカは大国でもある。トランプ大統領が狙うパリ協定離脱・・・その先は、何を見据えるのか。引き続き注視していく。



パリ協定正式離脱表明の囲み取材（下記 URL より画像引用）

【参考ニュースサイト】

米トランプ政権 「パリ協定」離脱を正式通告 大統領選の争点に（NHK NEWS WEB）
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/2019/11/05/k10012164241000.html>

米政府 パリ協定離脱を正式通告 気候変動対策に暗雲（BBC NEWS JAPAN）
<https://news.go.jp/article/bbcworldnewsjapan/world/bbcworldnewsjapan-50297884.html>

【アメリカ】EPA、クリーンパワープランに変わる新二酸化炭素排出規制ルール案公表 州政府に権限受権（Sustainable Japan）
<https://sustainablejapan.jp/2018/08/24/epa-affordable-clean-energy-rule/34006>

アメリカにおける再生可能エネルギーの導入動向（経産省資源エネルギー庁）
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2010.html/1-2-3.html>

企画広報部



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1
Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110
購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで

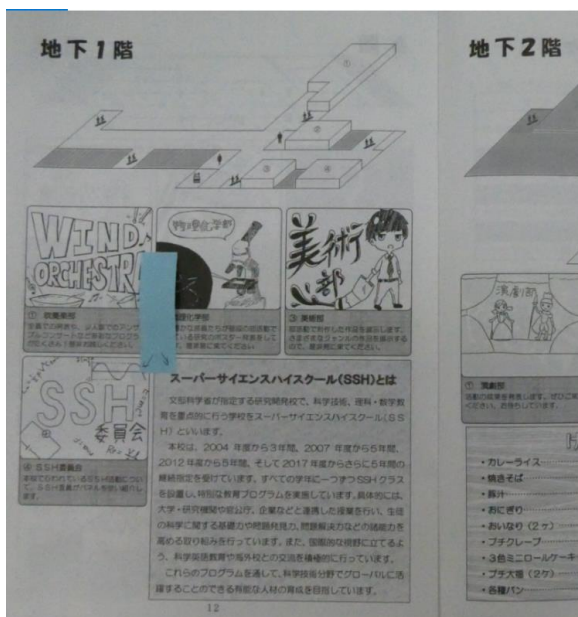


その他レポート／教育等

■ 東海大付属高輪台高等学校より JCOAL が取材を受けました

文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校である東海大付属高輪台高等学校から、JCOAL に取材を希望する連絡をもらい、8/27（火）に生徒 4 名と担当の先生から、JCOAL の企画広報部の職員が取材を受けました。同校の SSH 委員会のメンバーでもある 1 年生の生徒たちで、石炭やエネルギーについて、疑問に感じていた事について質疑応答が行われた。

取材の後、それぞれの生徒が個別にテーマを定め、それぞれに研究・分析・解析を生徒自ら実施。同校学園祭の「建学祭」にて研究内容が発表された。建学祭は 10/12（土）・13（日）を開催予定日としていたが、台風 19 号が 10/12（土）に上陸した影響で、10/14（月）に開催となった。石炭の起源／石炭の実用性／石炭の持続可能性など、本物の石炭も展示し研究成果を掲示・発表をされた。取材を受けた JCOAL 職員は都合により、残念ながら同発表会および建学祭を訪れることが出来なかったが、学園祭当日の様子を撮影した写真や、建学祭のパンフレットを送付していただけた。彼らの研究内容には目を見張るものがあり、今回を契機に学生や未来を担う若い人達に石炭を知ってもらう広報体制でありたいと思い、具体的にどのような活動ができるのかを改めて考える機会となった。



学園祭では校舎地下 1 階で発表



生徒たちから送られた、学園祭での様子を写した写真とパンフレット

同高校の学園祭「建学祭」の様子（同校公式ホームページ）

<https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/news/5763/>

同高校の SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取組（同校公式ホームページ）

<https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/future/ssh/>

JST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）による SSH についての取組（同機構公式ホームページ）

<https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/>

企画広報部



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで



■ J-POWER 磯子火力発電所にて「J-POWER まつり 2019」が開催

10 月 27 日（日）、爽やかな海風が吹き抜ける横浜市磯子区の J-POWER 磯子火力発電所において、恒例の「J-POWER まつり 2019」が開催されました。このイベントは、J-POWER の発電所、事業所毎に年 1 回、地域の皆様に発電設備等をご紹介しますものです。今回の磯子火力発電所では、最寄りの JR 京浜東北根岸線の磯子駅から無料シャトルバスを利用されたご来場者が 10 時のイベント開始前から長蛇の列を作る程の盛況ぶりで、発電所職員の皆さんが一丸となって家族連れ等のご来場者をお迎えしていました。

都会にあるコンパクトな発電所の敷地内で、発電設備見学会、エネルギープラザ見学会、こども電気工作教室、ステージショー、スタンプラリー、ゲームコーナー、駄菓子屋、うまいもの屋台、福島県産品販売会、花苗配布、地域の関係機関とのコラボ行事等々、盛りだくさんなイベント・メニューが用意されており、子どもから大人まで多くの地元地域の皆様が、最先端の技術で建設・運転されている石炭火力発電所を体験され、発電所の職員との交流を深められている様子を実感することができました。



ベビーカーでおいでの方も出店に並ばれています



イベントには沢山の方が並ばれています



横浜市水環境キャラクター かばのだいちゃんも来ましたよ



様々に出店されているお店は大盛況でした

J-POWER 発電所等開放イベント開催予定 磯子火力発電所（公式ホームページ）

http://www.jpowers.co.jp/bs/karyoku/open_day/isogo.html

企画広報部 武藤憲一



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで



■ JCOAL 業務紹介:技術連携戦略センター 「バイオマス・トレファクション技術開発・実証支援」

JCOAL がどんな活動をしているのか、JCOAL スタッフにインタビューする第 5 弾。今月は 2 人の方にアッシュ君がインタビューをします。1 人目は部内・部外問わず色々な方に頼りにされているという技術連携戦略センターの田中恒祐さんです。



田中

まずは自己紹介をお願いします。

技術連携戦略センターの田中恒祐（たなかこうすけ）と言います。

2011 年 4 月入社、今年で 9 年目になるよ。



アッシュ君



田中

2011 年！3 月 11 日に東日本大震災が発生して以来、余震が多かった年だったと覚えているよ。そんな中で新社会人生活を始めたんだね。



アッシュ君

そうだね。それまで地元札幌に居たから 3 月 11 日の地震を本州で経験していないんだ。4 月になって東京に来たんだよ。

札幌！北海道の出身なんだね！学生の時はどんな勉強をしていたの？



アッシュ君



田中

大学では資源工学の岩盤力学について学んでいたよ。JCOAL にも OB の先輩が何人か居るんだよ。

確か、JCOAL で働きながら大学院にも通っていたよね？



アッシュ君



田中

大学院では CCS（CO2 の回収・貯留）に関する博士課程を卒業したよ。

働きながら勉強するのって、とても大変だったと思うんだ。すごいと思う！今はどんなお仕事をしているの？大学や大学院で学んだ分野なのかな？



アッシュ君





田中

大学・大学院での学んだ分野とは少し違うお仕事を今はしているよ。バイオマス・トレファクション技術の技術開発と実証を支援する仕事をしているよ。

とれ？とれふぁくしょん？・・・ってなあに？



アッシュ君



田中

「トレファクション」って言って、バイオマス素材をおよそ 300 度ほどの熱処理で炭になっていもう手前で止める、いわば“半炭化”して、その素材のエネルギー効率を高めるようにすることを指すんだよ。

石炭が地球の活動で作られているから、トレファクションって言うのは「石炭のようなもの」を人工的に作るっていうので合っているかな？



アッシュ君



田中

そうだね。石炭が作られた過程とは温度も条件も異なるけれども、そういう視点の研究開発でもあるよ。
色々な素材の候補があり、世の中で様々な研究がされているけれども、僕は樹液を取った後のゴムの木をバイオマスの材質として研究開発・実証する業務に携わっているよ。

ゴムの木って、あのゴムの樹液が取れるゴムの木？ゴムが取れなくなったら捨てられてしまうの？



アッシュ君



田中

樹液を取った後でも、家具に加工されたり、パルプの原料になったりと使われているよ。
今回の実証では家具やパルプ加工の端材（これ以上加工できなく廃棄されるもの）を使っているんだ。

捨てるしかなかったような素材を燃料として再利用できるようになる、そんなお仕事をしているんだね。
今、「資源の循環利用」は環境に地球に優しい取組として注目されているよね。ぜひ！成功してほしいな。



アッシュ君





朗報来る?の笑顔です。田中さんのデスクにてスナップショット



田中

年内（12 月末まで）には実証を終わらせるスケジュールなんだ。実証が最終段階でとても慌ただしいけれども、僕も成功を目指して！頑張るよ。

とても大変そうだね。そんな多忙な時に、インタビューに答えてくれてありがとう！お仕事で大変だなと思ったことはある？



アッシュ君



田中

実証事業の日程調整／要員手配／取引先交渉／発注計画／研究成果・・・等々の管理もしているんだ。実証プラント規模も大きいけれど、（多岐に渡る業務で）責任も大きいと実感しているよ。

まるでベンチャーとか起業家のように色々なことをしているんだね！ゴールまであと少し！ラストスパート頑張ってね！



アッシュ君

『出された仕事は好き嫌いなく取り組むことができる、悪く言えば器用貧乏』と自己評価されていた田中さん。自分の事でも驚くほど適格に分析される様子はまさに『頭脳明晰』。

「こういう仕事がしたい」というこだわりは無いとしながらも、以前仕事で携わっていた「藻類バイオマス化」や大学院で学んだ「CCS や CO₂ に関する業務」などは、仕事で役立てたいと話されていました。

休日は（社会人になってからずっと所属している）草野球に週末参加されているようで、去年 11 月に足のアキレス腱を切ったからはフットサルへの参加は自主規制されているようです。目下、フットサル復帰が目標！と笑顔で答えていました。

お話を伺っているうちに、田中さんがとんでもない多忙なことに気付いた私ですが、それでも真摯に答えていただいた事に、彼の仕事に対する姿勢が垣間見えて、さすがだなと思うことしきりでした。田中さん、ありがとうございます。



コール君と一緒にポーズ



■ 教えて！ニャンコール教授！「石炭って燃えた後は何になるの？」

「石炭を燃やす発電などは知っているのですが、石炭を燃やした後についてはあまり知りません。どうなっているのでしょうか？」という質問がきたぞい。

質問：石炭は燃え終わったあとは何になるの？



答え：石炭は燃え終わると「**石炭灰**」が残るのじゃ。石炭火力発電では石炭灰が発生するのじゃが、様々に利用されておるぞ。



燃えたら木炭みたいに灰になるんだ！
質問：どれくらいの量になるの？



答え：石炭灰は、石炭燃焼後に残る灰分で、重量比で石炭の数%～十数%発生しておるぞ
日本における石炭灰発生量は、年間で約 1280 万トンとなっておるぞ。



結構たくさん発生しているんだね！
質問：石炭灰にはどんな種類はあるの？



答え：石炭火力発電所（微粉炭火力）で発生する**石炭灰の約 85%がフライアッシュ**（飛灰、煤塵）と言われておる。
そして**約 15%がクリンカ**（炉底灰、燃え殻）で、**IGCC からは熔融スラグ**という灰状でなく**ガラス状の物**が排出されるぞい。



写真 フライアッシュ

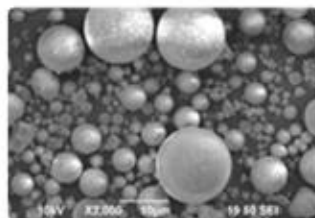


写真 フライアッシュ電子顕微鏡写真

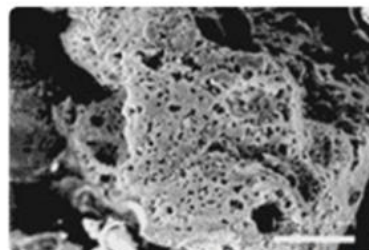


写真1. クリンカアッシュ電子顕微鏡写真(300倍)

（左、中央）フライアッシュ、（右）クリンカアッシュ（JCOAL ホームページより引用）





IGCC 溶融スラグ（NEDO ホームページより引用）

質問：石炭灰って何かに使われているの？



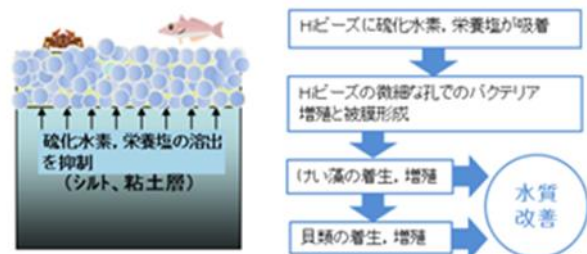
答え：石炭灰は、主に**セメント**原材料等として有効利用されておる。他にも、**土木・建築用工事資材**、**肥料**、**水域底質改善材**として利用等、様々な形で利用され我々の生活に役立てておるのじゃよ。



福島エコクリートの取組

海域沿岸、河口での底質改善のための活用

■ 1. Hiビーズをシルト・粘土層上に撒く（溜砂）



中国電力の取組

【参考サイト】

石炭灰 QA 集（JCOAL）
<http://www.jcoal.or.jp/ashdb/ashqa/>

石炭灰のデータ（JCOAL）
http://www.jcoal.or.jp/ashdb/ashstatistics/upload/H29_ashstatistics.pdf

フライアッシュ協会
<http://www.japan-flyash.com/>

溶融スラグ（NEDO による詳細）
<https://www.nedo.go.jp/hyokabu/articles/201306igcc/index.html>

石炭灰の有効活用（中国電力）
<http://www.energia.co.jp/business/sekitanbai/index.html>

福島エコクリート製品紹介
<http://www.fukushima-ec.com/product>

「教えて！ニャンコール教授」のコーナーでは、みなさんからの質問を受け付けております。どんなことでも、ニャンコール教授が答えます！ページ下記までご連絡お待ちしております。



■ JCOAL 業務紹介：国際事業部

「日中協力事業のコーディネーターとして石炭火力発電の効率向上・環境改善事業、石炭の付加価値高度化事業」及び「石炭・新エネに係る日中協力事業等の支援」

JCOAL がどんな活動をしているのか、JCOAL スタッフにインタビューする第 6 弾。今月の 2 人目は国際事業部の常静さんです。JCOAL のマドンナでもある常静さんにお話を伺ってみましょう。



常静

ねえねえ、常静（じょうせい）さん。出身はどこか聞いても良い？

もちろん！何でも聞いて！

私は中国の陝西省西安市だよ。昔は、隋や唐王朝の都でもある「長安」って呼ばれていたよ。日本人にも馴染み深く、秦の始皇帝の兵馬俑（へいばよう）や、博物館など見る事が多くあり、歴史を感じられる街なのよ。



アッシュ君



常静

兵馬俑！僕知ってるよ！聞いてたら行きたくなっちゃった！遣隋使とか遣唐使も長安目指して行ったよね。あの長安が西安なんだ。とても解りやすい！



アッシュ君

アッシュ君、よく知っているね。

遣隋使や遣唐使など、歴史から見て日中の文化や制度、そしていろんな面での交流や発展に大いに貢献したのよね。



アッシュ君



常静

学生の時はどんなことを学んでいたの？

西安外国語大学で日本文学を専攻したのが、日本とのご縁の始まりだったわ。最初の仕事は地元の行政機関で日本とのインフラ整備の交流に携わり、語学の面も含めて経験を重ねたのよ。その後、北京に転勤し石炭に係る日中協力の仕事に就いたのよ。



アッシュ君



常静

日本文学を専攻していたんだ！だから日本語が堪能なんだね！北京でのお仕事ってどんなことをされていたのかな？

当時、中国の石炭を安全、且つ安定に生産、また輸送するための日中協力事業が数多くあり、炭田地質調査もその一環だったのよ。中国側の通訳及びプロジェクト推進をしていたのよ。この頃から JCOAL と繋がりをもっていたわ。



入社前から JCOAL との繋がりを持っていたなんて、運命を感じちゃうよ、僕。



アッシュ君



常静

もっと日本のことを目で見えて肌で感じたいという夢があり、来日したのよ。東京経済大学の大学院で勉強しながら「中国国有炭鉱の赤字分析」をテーマに卒業論文を取り纏めたよ。石炭とのご縁なのかしら・・・今でもそう思うわ。そして 2000 年に JCOAL に入社したのよ。

海外の人が日本の大学院に入学して卒業するのってすごい大変だと思う。努力の結晶だね。



アッシュ君



常静、インタビューでの様子。
アッシュ君を「可愛い」と気に入ってくれた様子



常静

入社してからの業務をおおまかに紹介するわね。
2000 年から炭鉱保安研修事業に携わり、日本政府・団体・企業が力を合せて中国炭鉱の安全向上に貢献。2006 年には中国政府から（当時の安藤理事長）「友誼奨」を受賞。2009 年からは日中石炭火力発電の効率向上・環境改善事業をコーディネート。10 年間に渡り感じたのは、日中の技術の差の縮まったこと。それと同時に「技術支援」より「ビジネス協力」の重要性を痛感。また、炭鉱の町を中心に展開する ECT（エココールドタウン）事業に取組み、日本の循環経済の理念、やり方、石炭高度化利用技術と環境技術を炭鉱地域に導入していただくためなのよ。今までを振り返ると、例えるなら“石炭の温もりに守られて楽しくて仕事をしている”感じかしら。日中の民間企業間の事業化向けの橋渡しなども務め、自分なりに文化の違いを埋めながら頑張っています。



世界 80 億トンの石炭生産のうち、およそ半数の 40 億トン中国が消費
 していて、その中国との橋渡しはとても重要なお仕事だね。
 日本の事を学び、縁や繋がりをもっていた常静さんだからこそ出来る仕事
 だね。



アッシュ君



常静

私の父は、中国の東北地方出身でとても日本語も上手でした。そん
 な父に影響されて、私も「日本に関わる・携わるような人になりた
 い」と思っていて、とても日本に興味を持っていたのよ。

夢を叶えるのって、努力だけじゃどうにもならないこともあるよ
 ね。幸運やご縁も常静さんに巡ってきているんだと思う。JCOAL
 に常静さんが居てくれて本当に良かったと僕は思うよ。



アッシュ君



コール君と一緒にポーズを決めて



常静お気に入りの 2015 年クリーン・
 コール・デー ポスターの前で

出身地の西安についても、今まで勉強してきたことやお仕事に関して
 も、1つ1つとても丁寧に教えてくれた常静さん。その1つ1つに興味を
 持たずに居られません。今回紹介したのは、ほんの一部です。

伊 木 賞 (<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/upload/JM-235.pdf>) も受賞され、その活躍は留まることを知りません。彼女によく当
 てはまるのはまさに「才色兼備」という言葉です。今回、初めてこんなに
 長くお話をさせてもらいその人となりや物腰の柔らかさは「才色兼備」と
 という言葉では足りず、さらに言葉を付け加えねばなりません。実は私の祖
 母は、戦時中に満州や大連などの百貨店で働いていたという事を聞いたこ
 とがあります。常静さんに今度は、東北地方のお話を聞きたくなりました。
 中国観光にふさわしいプランも教えてくれそうです。日中の架け橋となっ
 ている常静さん、ありがとうございました！



■ 映画「ぼくらの 7 日間戦争」に赤平市の旧住友赤平炭鉱立坑櫓がモデル地に

昨今、『君の名は』に続き『天気の子』と新海誠監督のアニメ映画はとても話題となっています。かく言う私も『君の名は』は、実は映画館に 3 回観に行き 3 回観て 3 回とも違う感動を得て、ロケ地を巡り臨場感に浸りたいと思っていた経験があります（混雑を避けまだ行けていない）。

たかが「アニメ」とは侮るなかれ、『ガールズ&パンツァー（通称：ガルパン）』では茨城県大洗市が、『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない（通称：あのはな）』では埼玉県秩父市が“聖地巡礼”として多くのファンが今でも訪れる地域でもあります。

ただ訪れるだけではなく、地域の方のもてなしの心や優しさに触れ、実在する土地・地域そのものに愛着が沸き、若い人手が足りないという地域問題にも積極的に地域活動に参加し移住にまで至るケースも少なくありません。観光を超え良い形での移住パターンとなっている例も多いのです。

そして、かつて実写版邦画で話題騒然で一大ブームともなった 1988 年の「ぼくらの七日間戦争」※¹が、30 年近くの時を経て 2020 年を舞台に長編アニメーション映画化（12 月 13 日全国ロードショー）がされることになりました（これだけだと、単に映画を勧める人になってしまう）。

それはさておき、なぜ JCOAL マガジンで紹介するに至ったかと言えば、旧住友赤平炭鉱立坑櫓がロケ地となり、まるで美しい写真のような背景やシーンがこの映画で流れることになったからです。

同映画の公式サイトには“石炭工場”とされ、紹介されていますが（そのストーリーの中で）“石炭工場”のモデル地となっているのが『旧住友赤平炭鉱立坑櫓』です。

HOKKAIDO LIKERS というサイトでは同モデル地も見学できる「赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設」にライターの手バタカコさんが取材された記事が掲載されています※²。旧住友赤平炭鉱立坑櫓のヤードを見学取材されており、そこでは元炭鉱マンの三上秀雄さんのガイドが秀逸との紹介とともに、本物のヤードの風景とアニメポスターを並べて紹介もされています。

純粋に個人として作品が気になり、JCOAL 職員としてもヤードのシーンも気になります。今回は、時間を作って観に行ってみようかと思えます。皆様もいかがでしょうか？



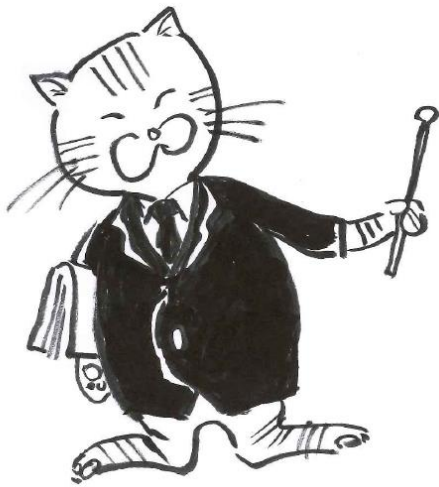
下記公式より画像引用（©2019 宗田理・KADOKAWA／ぼくらの 7 日間戦争製作委員会）
HOKKAIDO LIKERS さんでは「同じアングルで写真が撮れる！（ただし乗れません）」として紹介されています。

※¹ ぼくらの 7 日間戦争（公式ホームページ）：<http://7dayswar.jp/>

※² 元炭鉱マンのガイドが秀逸！「赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設」（HOKKAIDO LIKERS）<https://www.hokkaidolikers.com/articles/5079>

企画広報部 水澤真純





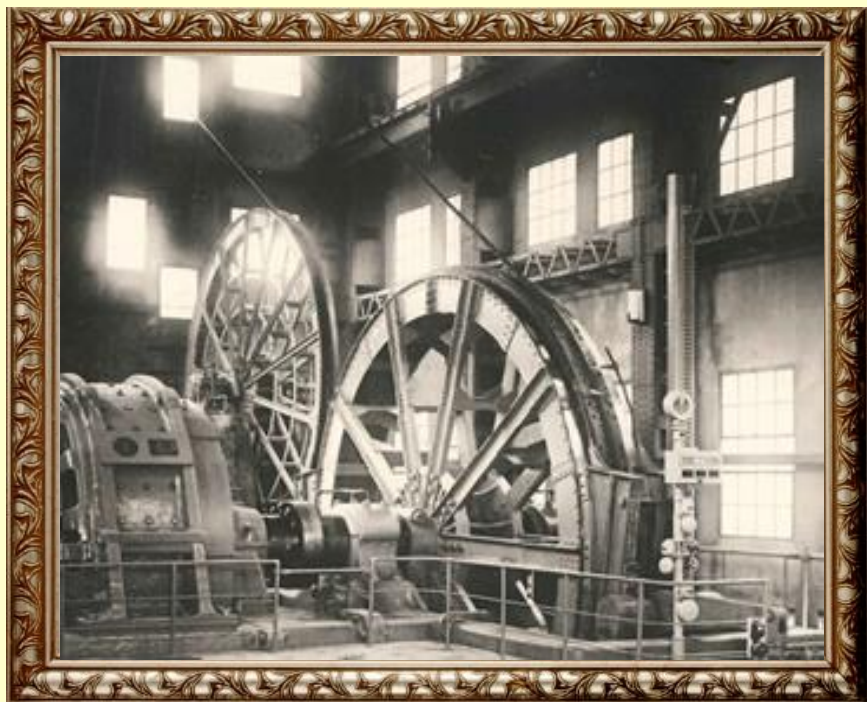
ニャンコール教授のひとこと

エコプロ 2019 出展にあたり、石炭灰についても（密閉容器に入れて）本物を展示したり、パネルで紹介するにあたり、改めて石炭灰について勉強したぞい。ネット検索をすると、電力会社だけでなく建設会社や専門企業まで、多岐に渡り製品開発がされ利用されておるといのを改めて知ったぞい。わしもまだまだ勉強不足じゃのう。

「教えて！ニャンコール教授」のコーナーでの石炭灰の話は、技術開発部の助けも借りたぞい。『資源の循環利用』という点からも、紹介したい事は山ほどあるのう。

みんなに知って欲しいことはまだまだあるので、また別の機会に紹介させていただくぞい。

～炭鉱アーカイブス～



JCOAL の Instagram よりご紹介。
今回の写真は三井山野炭鉱第一立坑巻揚機です。

★JCOAL の Instagram では日本各地の炭鉱の写真を紹介しています★



お知らせ

エコプロ 2019 に出展します

エコプロ 2019（第 21 回）に JCOAL も出展します。クリーンな日本の石炭利用技術や、エネルギー資源についてブースで紹介します。小中高生が、教育の一環として訪れる事の多いエコプロ、学生向けのクイズなども実施の予定です。科学技術館などの実験教室でも子どもだけでなく、大人の方にも好評な国産のおよそ 300kg ある塊炭（瀝青炭）もブースにディスプレイする予定です。

●日程：2019 年 12 月 5 日（木）～7 日（土） 10:00～17:00

●会場：東京ビッグサイト 西 1～4 ホール

●入場料：無料（事前登録制）

●主催：（一社）産業環境管理協会、日本経済新聞社

エコプロ 2019（公式ホームページ）：<https://eco-pro.com/2019/>

JCOAL ブースの紹介：<https://eco-pro.biz/exhibitor/info/EP/ja/13066/>

皆様のお越しをお待ちしております。



昨年のエコプロ 2018（第 20 回）

石炭クイズにパネルを見てヒントを探す子たちの様子



『石炭データブック COAL Data Book(2018 年版)』好評発売中

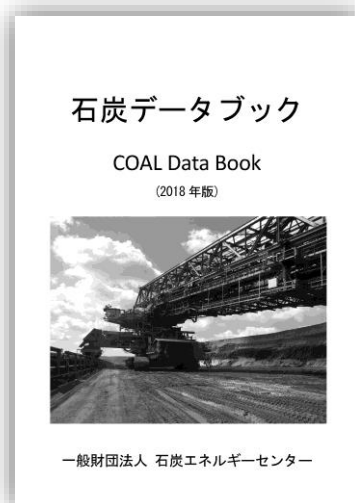
JCOAL では「コール・ノート」に変わる石炭専門のデータ本として、昨年『石炭データブック COAL Data Book (2017 年版)』を刊行。この度、2018 年の最新データにて更新した『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』の発売を 4 月 1 日から開始しております。

2017 年版に引き続き、石炭の世界の埋蔵量、生産量、消費量および石炭に関する各国の状況をデータ中心にまとめております。主要産炭国の基本情報や政策、電力事情等の情報も更新しております。

この機会にぜひお買い求め頂けると幸いです（購入方法および各項目の詳細は、下記 URL をご参照ください）。

版型_A5 版 / 定価_2,500 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDataBook/2018.html>

『石炭の開発と利用』好評発売中

石炭の上流部門から下流部門までの基本的なノウハウを図や写真などを交え、専門的な技術をわかりやすく記述した書籍となっております。

『石炭とは何か?』『どうやってできたのか?』から始まり、『石炭採掘方法から販売まで』『クリーンコールテクノロジー』『環境への配慮は?』等、石炭について知りたい情報を読みやすくまとめました。一般の方から専門家まで、この機会にぜひお読み頂けると幸いです。

版型_A5 版（183 ページ） / 定価_3,000 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDevelopment/development.html>



『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ

JCOAL コールバンクは、もうご覧になりましたか？

（一部データは事前連絡が必要ですが）基本は無料で参照可能となっております。

※『Internet Explorer』では参照がエラーになる場合もありますが、『Google Chrome』だと参照可能となる事もあります（Google Chrome は無料でダウンロード可能となっております）。

まずは<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>をインターネットで参照すると以下のページが出ます。

一般財団法人 石炭エネルギーセンター
Japan Coal Energy Center

home
JCOALについて about
JCOALの事業 work
入札・公募 tender
石炭について学ぶ study
コールデータバンク data 会員専用
石炭灰 coal ash
書籍・刊行物 book
採用情報 recruit
会員さまへ member

JCOAL コールバンク
(石炭の産地・性状データベース)

JCOALでは、NEDOからの委託を受けて企業や大学・研究機関等のCCT開発やCCT事業化を効率的に支援することを目的として、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOALコールバンク」を開発し、2018年4月から新運用を開始しています。

- JCOALコールバンクの特徴は以下のとおりです。
 - 無煙炭、亜煙炭、亜煙炭、褐炭まで世界中の100を超える様々な炭種が登録されています。
 - データの分析はJCOALの責任の元で実施しております。
 - データの閲覧は無料です。
 - 登録石炭の実サンプル提供が可能です。（有償）
- 想定される活用事例
 - 石炭調達の際、産炭地の炭種を概観するのに利用。
 - 複数の研究機関が共通のサンプル炭で試験することにより、試験結果と試験条件の違いに焦点を絞った比較検討や議論。

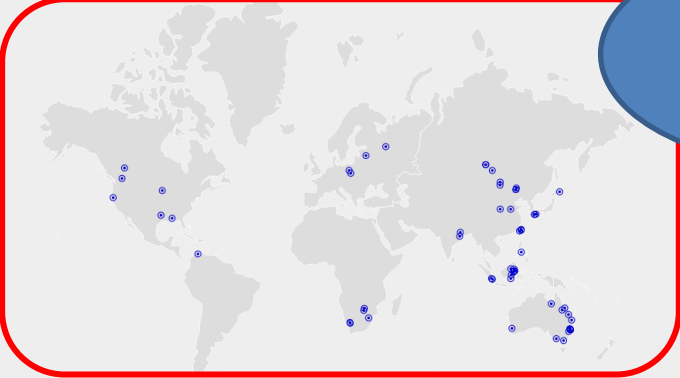
インターネットで、これと同じ画像の箇所をクリックするとデータが見られるよ

サイトマップ 関連リンク 個人情報保護方針 免責事項 お問い合わせ

（※初めてデータを参照する際は、アンケートおよびメールアドレスのご質問があります。）



世界地図の青い箇所の石炭の質をクリックすると、該当する成分データに色がつくよ



国名	炭種名	炭種成分分析の有無	炭種別量		炭水分		灰分		揮発分		固定炭素		揮発比	元素分析(%)				窒素		硫黄		不純物成分		塩素		フッ素		揮発性試験		
			kg	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%		Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%	Wt%
Australia	Newlands	Absence	20844		2.82	14.97	20.3	59.21	2.137262367	72.71	4.12	1.44	0.41	5.95	0.5	0.01	0.004													1400
Australia	Ebeneza	Absence	20560		2.24	14.52	38.04	45.2	1.188222623	69.14	5.16	1.34	0.49	0.02	0.82	0.23	0.008													1400
Australia	BLAIR ATHOL	Absence	20400		3	8.55	28.44	60	2.105704841	75.0	4.31	1.67	0.25	9.33	0.3	0														1400
China	Datong	Absence	20109		3.16	0.68	28.76	58.4	2.030566053	74.4	4.21	0.95	0.65	6.78	0.75	0.91	0													1310
Japan	Taharyo	Absence	28056		3.75	12.08	43.68	40.18	0.913567709	68.84	5.44	1.02	0.1	12.05	0.28	0.48	0.01													1270
Australia	Tiger Head	Absence	20608		2.03	11.92	35.59	50.49	1.416853786	72.24	4.9	1.57	0.48	8.64	0.81	1.05	0.003													1270
Australia	Rising	Absence	27460		2.3	19	31.5	51.1	1.917059508	70.9	4.52	1.14	0.55	7.53	0.55	0.03	0.004													1400
Australia	WorkWorth	Absence	28302		2.99	11.9	31.22	53.89	1.725137092	72.58	4.74	1.55	0.39	8.46	0.4	0.1	0.019													1400
Indonesia	Paisir	Absence	25032		10.52	4.38	40.68	44.32	1.069478859	69.9	5	1.84	0.19	18.18	0.23	0.92	0.009													1400
Indonesia	Prima	Absence	20620		4.38	5.14	39.64	50.86	1.283047427	72.22	5.22	1.36	0.6	15.23	0.64	0.66	0.008													1400

ご利用後アンケートページ

JCOAL では、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOAL コールバンク」を開発し運用しております。NEDO 委託による、企業・大学・研究機関等の CCT（クリーンコールテクノロジー）開発や事業化を効率的に支援することを目的としております。データの詳細はこちら（<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>）をご参照ください。

データ参照に際し、不明点等がございましたら下記までご連絡ください。

JCOAL 会員募集

JCOAL は当センター活動にご賛同頂ける皆様からのご支援とご協力により運営されております。
会員にご入会頂き、事業や調査研究などにご参加頂けると幸いです。
※会員企業の方は、専用のウェブサイトのご利用が出来ます。(コールデータバンク等)の他、会員様
限定のサービスなどございます。詳しくはホームページをご参照下さい。

(<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/support/>)

会員ご入会に関するご質問・お問合せは TEL 03-6402-6106/e-mail jcoal-pr@jcoal.or.jp
企画広報部にてお承りしております。よろしくお願いいたします。



(会員様専用のサイト「コールデータバンク」)

JCOAL 新規会員ご加入情報

(10/1~11/20 現在)

株式会社新発田ゴム JP 様 (3 号) (<https://www.shibatagomu.com/>)

株式会社アクティ様 (3 号) (ホームページ現在なし) が、新規ご入会されました。

JCOAL の会員企業様一覧はホームページにて掲載しております

<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/list/>

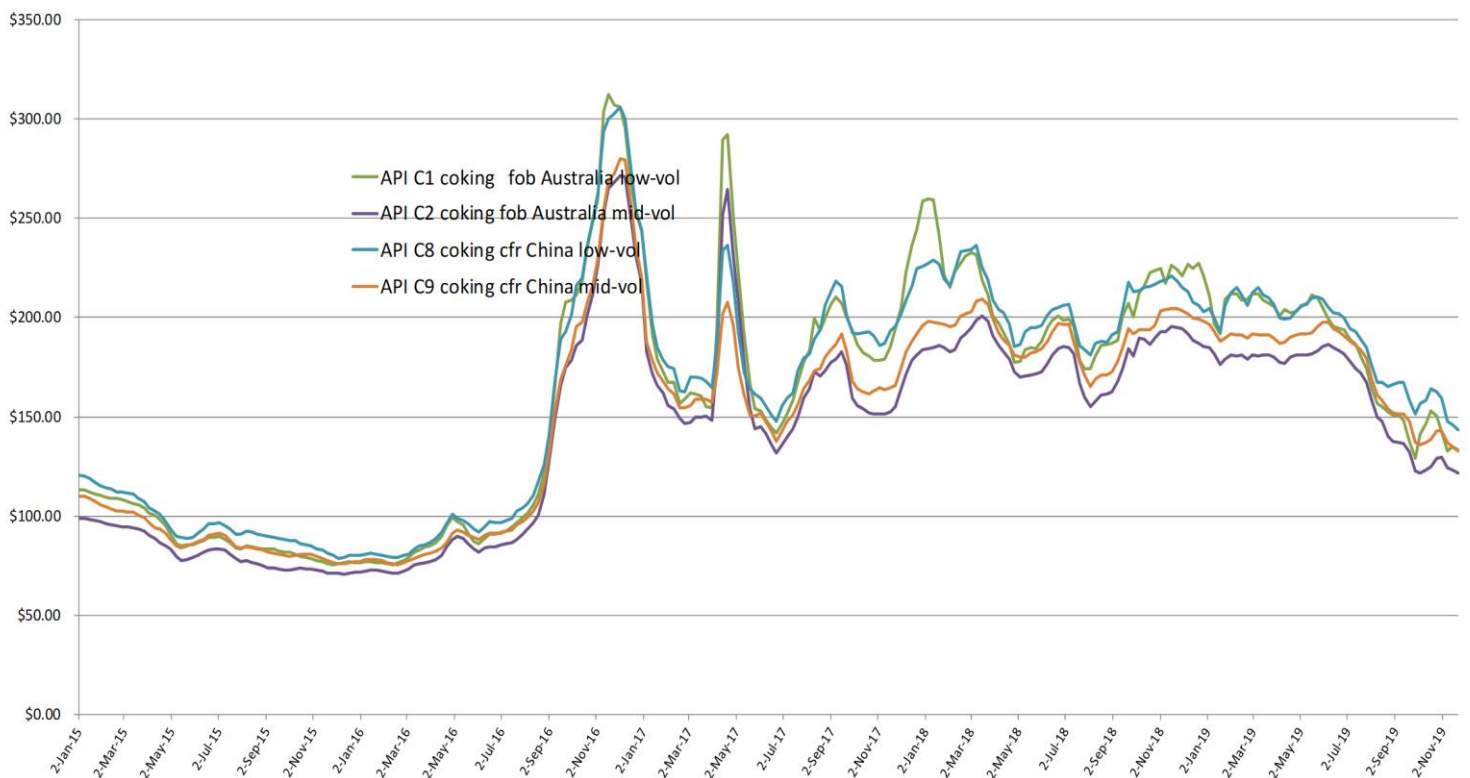
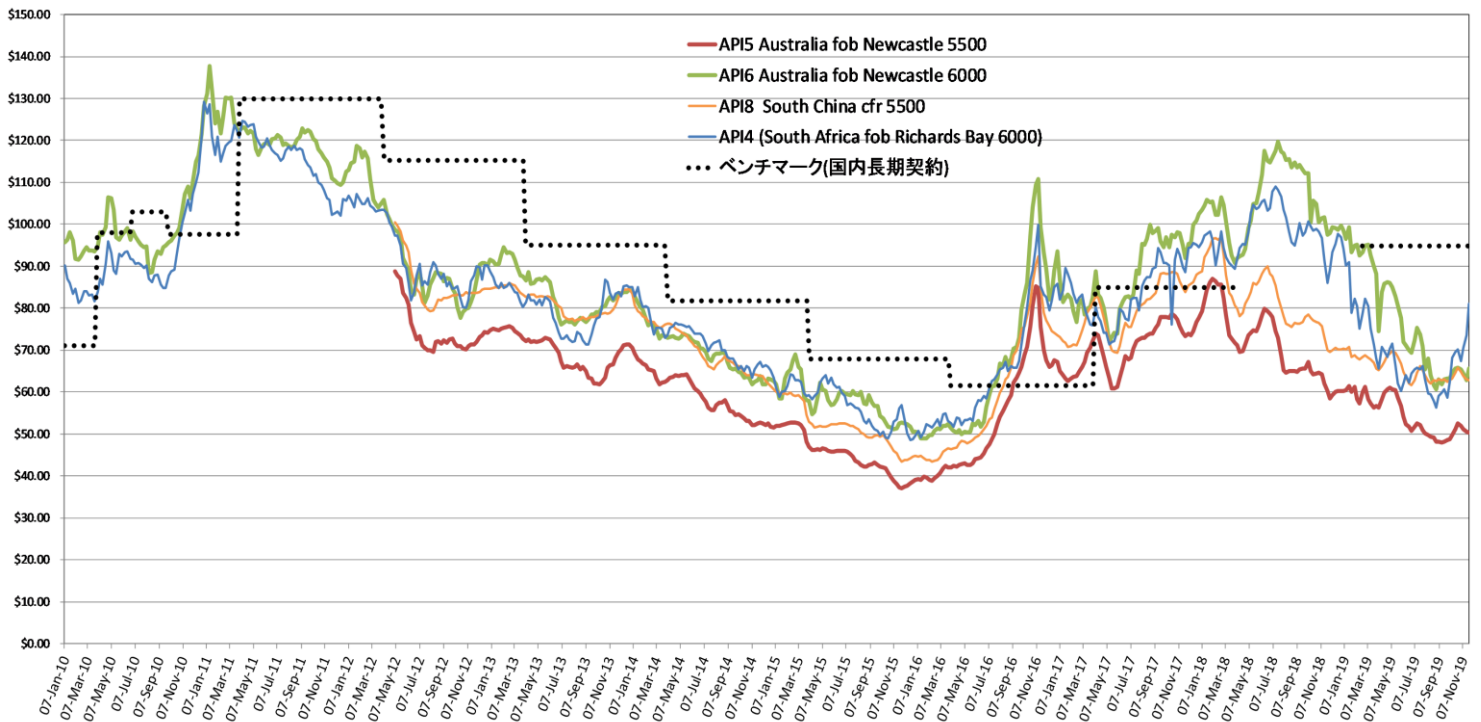




石炭価格動向



Argus/McCloskey's Coal Price Index



国内セミナー／会議情報

東京大学 エネルギー工学連携研究センター

各開催詳細はこちら→<https://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/html/seminar.html>

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

各開催詳細はこちら→<https://eneken.ieej.or.jp/seminar/index.html>

独立行政法人 国際協力機構(JICA)イベント・セミナー情報

各開催詳細はこちら→<https://www.jica.go.jp/event/>

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イベント・セミナー情報

各詳細はこちら→<http://www.nedo.go.jp/search/?type=event>

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

各詳細はこちら→<https://www.iges.or.jp/jp/research/event.html>

早稲田大学総合人文科学研究センター 国際シンポジウム 2019 年度年次フォーラム 「産業の労働・経験をどのように記録し、継承するか：石炭産業の場合」開催のお知らせ

■日時：2019 年 12 月 7 日（土）10：00～17：00

■場所：早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール 参加無料／事前申し込み不要

※レジュメや講演予定内容はこちら→<https://www.waseda.jp/flas/rilas/news/2019/08/09/6493/>



国際セミナー／会議情報

MINING GEOLOGY 2019 (25-26 Nov 2019)

Crown Perth, Great Eastern Hwy, Burswood WA 6100, AU

<http://mininggeology.ausimm.com/>

ICE Coal Market & Trading Programm (3-4 Dec 2019)

London, United Kingdom

<https://www.theice.com/EducationCourses.shtml?courseDetail=&courseId=6663>

TECH MINING RUSSIA (5-6 Dec 2019)

Marriott Courtyard Moscow Pavelerskaya Hotel

<http://techmining.ru/en/#!/program>

Argus Asia Ferrous Conference (27-28 Feb 2020)

Bangkok, Thailand

<https://www.argusmedia.com/en/conferences-events-listing/asia-ferrous?>



※編集後記※



編集・水澤：いつもお読みいただきありがとうございます。

クリスマスまであと 1 カ月弱だという事実が呑み込めない昨今です。に、してもクリスマスのツリーや飾り、イルミネーションまで、近代のクリスマスイメージ商戦などの名残かと思いきや、ルターがもみの木にロウソクを灯したのが起源とも言われ古くて驚きました。プレゼントも聖ニコラウスが貧しい子の家に煙突から金貨を投げ入れて、それが勢いで靴下に入ったのが由来だとか。積極的なねずみ小僧とい

う感じでしょうか。日付やお祝い要素も、キリストの降誕祭から、いつの間にやら生誕祭になったとか、色々な要素が入り混じり現在に至るようです。

色々な要素といえば、源氏物語のオリジナル本であろう巻が発見というニュースがありました。当時は印刷技術が無く、人の手で書き写す時代でした。人の字が上手く読みとれなかったというだけでなく、誰かの思惑で加筆されたという可能性も大きいと言われているだけに、紫式部本人の直筆本というのはとてもすごいことなんだというのが伝わります。源氏物語とクリスマスの「色々な人の要素が加わり今に至る」というのが少し似ているなとも思いました。悪い子には石炭がプレゼントされるという地域もあるようですが、燃料を貰えるからそれはそれで『いい人』という気もします。私は特に何も予定はしていないのですが、1 年お疲れ様ということですき焼きでも作り美味しくいただこうかと思います。

JCOAL Magazine のご感想・ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。

次号は『JCOAL 担当にインタビュー』、『JCOAL 活動報告』、『国際ニュース』など様々なトピックでお送りします。

JCOAL の各 SNS アカウント



★Twitter <https://twitter.com/japancoalenerg1>

★Faceboock <https://www.facebook.com/japancoalenergycenter/?ref=bookmarks>

★Instagram <https://www.instagram.com/sekitanenergycenter/>

★フォローお待ちしております★

★JCOAL Magazine に関するお問い合わせ並びに情報提供・プレスリリース等は jcoal-magazine@jcoal.or.jp をお願いします。

★登録名、宛先変更や配信停止の場合も、jcoal-magazine@jcoal.or.jp 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

★JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/>

一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで

